

紅葉川高等学校 令和8年度（1学年用） 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

教科担当者：（1組：河崎）（2組：河崎）（3組：河崎）（4組：河崎）（5組：河崎）（6組：河崎）

使用教科書：（高等学校 精選現代の国語 改訂版（第一学習社）714）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことととも、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことととも自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
科目理解	オリエンテーション							○	1
「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 【知識及び技能】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。(1)オ 【思考力、判断力、表現力等】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。(C1)ア 【学びに向かう力、人間性等】 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。	・主題に至る論の構造を把握させる。 ・主張に説得力を持たせるための論の展開について考えさせる。 ・教科書 ・ワークシート		○		【知識及び技能】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えることができる。(1)オ 【思考力、判断力、表現力等】 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えることができる。(C1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○	○	1
水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握させる。(2)ア 【思考力、判断力、表現力等】 東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。(C1)ア 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・東西の対比関係に着目させる。 ・日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用		○		【知識及び技能】 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握することができる。(2)ア 【思考力、判断力、表現力等】 東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。(C1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	5
書き方の基礎レッスン 【知識及び技能】 表記・表現の基本ルールを理解する。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、接続や比喩表現の仕方を工夫する。(B1)ウ 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	・表記・表現の基本ルールを理解させる。 ・接続表現の種類や用法を理解させる。 ・比喩などの表現技法を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 表記・表現の基本ルールを理解することができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、接続や比喩表現の仕方を工夫することができる。(B1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。	○	○	○	4
話し方の基礎レッスン 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解する。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 相手・目的・場面に応じた言葉遣いや表現方法を工夫する。(A1)ア 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使用する。	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解させる。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解させる。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用	○			【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解することができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 相手・目的・場面に応じた言葉遣いや表現方法を工夫することができる。(A1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	4
定期考査						○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
2 学 期	論理分析【対比】「間」の感覚（高階秀爾） 【知識及び技能】 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。(1)オ 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。(C(1)イ) 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・「論理の型」（対比）を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解することができる。(1)オ 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。(C(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	4
	論理分析【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎） 【知識及び技能】 文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。(1)ア 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。(C(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。	・「論理の型」（具体と抽象）を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解することができる。(1)ア 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。(C(1)ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	○	○	○	4
	ものとことば（鈴木孝夫） 【知識及び技能】 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。(3)ア 【思考力、判断力、表現力等】 言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。(C(1)イ) 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明する。	・具体（例示）と抽象（意見）の関係を理解させる。 ・筆者が主張する言語の性質を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解することができる。(3)ア 【思考力、判断力、表現力等】 言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解することができる。(C(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張に従って具体例を言葉で定義し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
	ロビンソンの人間 【知識・技能】 「ロビンソンの人間」が象徴する近代的な生活形態（合理的な自然支配、禁欲的な財の増殖）の特徴やキーワードを整理・理解し、文章の構成や論理の展開を的確に捉えることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 「ロビンソンの生活観」とそれ以外の多様な生活形態（伝統的な労働観など）を対比させながら、現代の環境問題や生活のあり方に対する筆者の問題提起を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代における人間と自然の関係性、あるいは自分自身の労働や豊かさに対する価値観を見つめ直し、説得力をもった説明をする。	・財を蓄積することと「今ある分でもっと暮らす（伝統的な生活観）」との対比構造を理解させる。 ・近代的な自然支配がもたらした「地球環境の危機」を踏まえ、「人間にとって真に必要なものは何か」「生きるに値する生活とは何か」を問い直す必要性を考えさせる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 「ロビンソンの人間」の定義（自然管理・財の増殖への執着）を本文からの的確に整理して理解している。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 現代の自然破壊や労働観の起源が「ロビンソンの生活形態」にあるという論理の展開を、文章の構成から客観的に説明できる。(C(1)ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 現代を生きる当事者として「ロビンソンの生活観だけが正しいわけではない」という広い視野を意識し、意欲的に自己の価値観を振り返ろうとしている。	○	○	○	6
	話し方の工夫 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解する。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 相手・目的・場面に応じた言葉遣いや表現方法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使用する。	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解させる。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解させる。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解することができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 相手・目的・場面に応じた言葉遣いや表現方法を工夫することができる。(A(1)ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	4
	現代の「世論操作」（林香里） 【知識及び技能】 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。(2)イ 【思考力、判断力、表現力等】 情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。(B(1)ウ) 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書く。	・問題提起を理解させる。 ・メディア社会に生きる者として問題意識を持させる。 ・教材 ・ワークシート ・一人1台端末の活用			○	【知識及び技能】 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つことができる。(2)イ 【思考力、判断力、表現力等】 情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。(B(1)ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
3 学 期	実用的な手紙文の書き方 【知識及び技能】 さまざまな「お便り」の種類を知り、手紙の書き方を理解する。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 相手に情報を適切に伝える文章の書き方、表現の仕方を習得する。(B(1)イ) 【学びに向かう力、人間性等】 書いた年賀状を進んで批評し合い、批評を踏まえて表現を工夫する。	・実用的な手紙文として、年賀状の書き方を理解させる。 ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得させる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用		○		【知識及び技能】 実用的な手紙文として、葉書文の書き方を理解することができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 相手に気持ちを適切に伝える文章の書き方、表現方法を習得することができる。(B(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 書いた年賀状を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。	○	○	○	3
	身近な製品の取扱説明書を作成する 【知識及び技能】 情報を的確に説明する方法を理解する。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 情報を相手にわかりやすく説明する表現方法を工夫する。(B(1)ウ) 【学びに向かう力、人間性等】 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書く。	・情報を的確に説明する方法を理解させる。 ・情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解させる。 ・わかりやすい説明を実践できるようにさせる。 ・教材 ・ワークシート ・一人1台端末の活用		○		【知識及び技能】 情報を的確に説明する方法を理解することができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 情報を相手にわかりやすく説明する表現方法を工夫することができる。(B(1)ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書こうとしている。	○	○	○	3
	生と死がつくるもの(柳澤桂子) 【知識及び技能】 意味段落の関係性を捉え、対比、抽象と具体等論理を理解する。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 生命科学の観点から提示される「死」について考えを深める。(B(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 本文で示された「死とはどのようなものか」について粘り強く考える。	・内容を把握するうえで、既習の、対比を捉える手法や、抽象と具体について確認させる。 ・生物学的な事実をひとつひとつ押さえることで、「能動的な死」とはどのようなものか理解し、私たちが一般的に抱く死のイメージとどう異なるかを理解する。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用		○		【知識及び技能】 筆者が自説を述べるために使っている、対比、具体と中小、仮説等論理展開を理解することができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 生命科学の観点から提示される「死」について考えを深め、自分の考えを持っている。(B(1)ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 本文で示された「死とはどのようなものか」について粘り強く考えようとしている。	○	○	○	6
	フェアな競争(内田樹) 【知識及び技能】 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。(B(1)ア) 【学びに向かう力、人間性等】 本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめる。	・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉えさせる。 ・「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・教科書 ・ワークシート ・一人1台端末の活用		○		【知識及び技能】 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえることができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述することができる。(B(1)ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめようとしている。	○	○	○	6
									合計	70

年間授業計画

紅葉川高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：渡邊）（2組：渡邊）（3組：渡邊）（4組：渡邊）（5組：渡邊）（6組：渡邊）

使用教科書：（高等学校 精選 改訂版 言語文化（第一学習社）183）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」、「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書	読						
1 学 期	古文の学習・児のそら寝 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これからの学習に見通しをもち、我が国の言語文化に興味関心を深める。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉ええる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりする。	・歴史的仮名遣いなどの読むために必要な基礎知識の定着。 ・教科書 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用	○			【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。(1)ア ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。B1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりできる。		○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1	
	羅生門（芥川龍之介） 【学びに向かう力、人間性等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを伝えられるようにする。 ・読書の意義と効用を理解させる。 ・文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを捉ええる。	・近代文学や思潮を踏まえた上で、内容理解をさせる。 ・教科書 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・グループワークの実施 ・小説教材「羅生門」	○			【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。B1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えをグループで共有できる。 ・自分の意見や考えを伝えるために、文章の内容や構成		○	○	○	9
	徒然草 【知識及び技能】 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解かせる。 ・語句の量を増やし、語彙が豊かになるように指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことをつたえられるようにする。	・枕草子や方丈記も含めた日本三大随筆の指導 ・教科書 ・古語単語調べ ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・徒然草の教訓を理解させる。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・グループワークの実施。	○			【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・随筆の内容・構成などを粘り強く把握し学習課題に沿って説明できている。 ・本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合うことができている。		○	○		8
	定期考査							○	○	○	1
夢十夜（夏目漱石） 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙が豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを捉えさせる。	・作品の時代背景を指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・一人一台端末において、調べ学習を実施。 ・ワークシートの活用 ・ICTの活用 ・感想文の実施 ・発表の実施 ・小説教材「夢十夜」	○			【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ ・比喩や言い換えなどの修辞を理解している。(1)カ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・聞き手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度などを考えて、自身の考え、感じ方を伝えられるようにしている。		○	○		5	

紅葉川 高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科 国語 科目 文学国語

教科: 国語 科目: 文学国語 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 6 組

教科担当: (1 組: 宗) (2 組: 宗) (3 組: 宗) (4 組: 川井) (5 組: 川井) (6 組: 川井)

使用教科書: (高等学校 標準文学国語(第一学習社) 710)

教科 国語 の目標:

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている
- 【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めている
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている

科目 文学国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
ナイン 【知識及び技能】 ・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深遠について考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・小説における「わたし」の役割や、他の登場人物にとって「わたし」がどのような存在であるかについて、積極的に自分の考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとする。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・内容理解 ・教科書 ・ICTの活用 ・小説教材「ナイン」	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。	○	○	○	10
清兵衛と瓢箪 【知識及び技能】 ・清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・文学史的な作者の紹介など、指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用 ・小説教材「清兵衛と瓢箪」	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・場面の移り変わりや登場人物の発言から、清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを粘り強く読み取ろうとしている。	○	○	○	10
定期考査		○	○	○		○	○		1
1 学期 真珠の耳飾りの少女 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フェルメールの絵画を紹介する随想と対談を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫や両者の向き合い方の違いについて理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フェルメールやフェルメール作品に対する向き合い方について、二つの文章の筆者間の違いを積極的に説明しようとしている。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・随想の読み方を指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用 ・小説教材「真珠の耳飾りの少女」	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	○	○	○	15
相棒 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取り、「相棒」という題名にこめられた意味を考えようとする。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って粘り強く読み取り、「相棒」という題名にこめられた意味を考えようとしている。	○	○	○	7

	<p>物語を創造する（物語を発見する力）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文体の特徴や表現の技法について理解し、活用する方法を学ぶ。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語が人間にとって持つ意味を考え、表現に注意しながら物語を創造する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒からの批評を前向きに捉え、自分が創作した物語の特長や課題を明らかにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・修辭法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の例を参考にして、学習課題に沿って積極的に物語を創作しようとしている。 	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	<p>山月記</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・作品の時代背景を指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用 ・小説教材「山月記」 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 	○	○	○	12
	<p>わたしが一番きれいだったとき</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩というジャンルの特徴や表現の技法を理解している。 ・我が国の言語文化における本作品の位置づけや特徴について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた戦争に対する心情などを理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・作者の代表作の紹介から、内容に入る ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。 	○	○	○	9
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
2 学 期	<p>花のいざない</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く随想を読むことで本文の構成・展開や表現について理解しようとしており、自然・芸術に対するものの見方についても積極的に理解を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・随想についての既習事項の確認 ・教科書 ・ICTの活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 	○	○	○	12
	<p>永訣の朝</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩というジャンルの特徴や表現の技法を理解している。 ・我が国の言語文化における本作品の位置づけや特徴について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の中の自然の描かれ方に注目し、「いもうと」と「わたくし」それぞれの心情を想像しながら味わっている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・作者の代表作の紹介から、内容に入る ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。 	○	○	○	10
	<p>テーマを決めて短歌・俳句を作る</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにするはたらきがあることを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文体の特徴や修辭のはたらきなどを考慮して、読み手を引き付ける工夫を学ぶ。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒からの批評を前向きに捉え、自分の短歌・俳句の特長や課題を明らかにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・指名音読 ・生徒の発表 ・相互評価 ・内容理解 ・教科書 ・ICTの活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、文体の特徴や修辭の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の生徒が創作した短歌・俳句を、積極的に批評しようとしている。 	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1

年間授業計画

紅葉川 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 文系論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：植竹） （2組：植竹） （3組：植竹） （4組：植竹） （5組：河崎） （6組：河崎）

使用教科書：（高等学校 論理国語（第一学習社））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数		
		話	書	読							
天然知能として生きる 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・文章を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成と論理の展開を捉え、要旨をまとめようとする。	・授業態度 ・修辭法 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成と論理の展開を捉え、要旨をまとめようとしている。			○	○	5	
手の変幻 【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・「欠落」や「無」が重要な役割をはたしている芸術作品の例について積極的に調べ、粘り強く本文の構成と論理の天界を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめている。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・作品の時代背景を指導してから内容へ入る。 ・教科書 ・ICTの活用			○	【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「欠落」や「無」が重要な役割をはたしている芸術作品の例について積極的に調べ、粘り強く本文の構成と論理の天界を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。			○	○	○	5
定期考査								○	○	○	1
日本人の「自然」 【知識・技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・「自然」という言葉について、それぞれの例における意味内容の違いを粘り強く説明する。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法 ・教科書 ・ICTの活用			○	【知識・技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「自然」という言葉について、それぞれの例における意味内容の違いを粘り強く説明している。			○	○	○	5

1 学期

	働かないアリの意義がある 【知識・技能】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・アリの生体の紹介から人間社会の問題点へと展開する本文の論理の展開を粘り強く捉え、要旨をまとめる。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			○	○	○	○	○	5		
	なぜ多様性が必要か 【知識・技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生物多様性の必要性について述べた本文を粘り強く読み、学習課題に沿って内容の理解を深めようとする。	・授業態度 ・修辭法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用			○	○	○	○	○	5		
	定期考査								○	○	○	1
	生体認証技術の発展と未来 【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・学習課題にそって、積極的に意思決定がデータに受けている事例を探し、表現の仕方を工夫して発表しようとする。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用			○	○			○	○	○	7
	身体的表現の関係性 【知識・技能】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力・人間性等】 コミュニケーションというテーマで書かれた複数の文章から良い取った情報を粘り強く吟味し、学習課題に沿ってまとめようとする。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			○	○			○	○		6
	言語が見せる世界 【知識・技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・言語と認識の関係について述べた評論を、具体と抽象の関係を整理しながら粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成や要旨、筆者の主張を捉える。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			○	○			○	○		5
	定期考査								○	○	○	1
2 学期	いのちのかたち 【知識・技能】 ・主張とその全1章や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【学びに向かう力・人間性等】 ・「いのち」と「生命」の違いを示しながら筆者の主張を述べる評論を粘り強く読み、学習課題に沿って段落構成を分析し、各段落の要旨をまとめる。	・授業態度 ・指名音読 ・発問評価 ・教科書 ・ICTの活用			○	○			○	○	○	5

紅葉川 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 理系論理国語

教科：国語 科目：理系論理国語 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 1,2(理系)組

教科担当者：(5,6組(理系))：宗)

使用教科書：(論理国語(第一学習社))

教科 理系論理国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている

科目 理系論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
<p>手の変幻</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる。芸術に対する見方を深める 	<p>1 取り上げられている事柄や問題に注意して本文を通読し、全体の構成を捉える。</p> <p>2 抽象的語句や逆説的、比喩的表現の具体的な内容をつかみ、説明する。</p> <p>1 ミロのヴィーナスの復元案について述べた第二段の要旨を、二つの形式段落の関係に留意してまとめる。</p> <p>2 第三段の重要な語句の意味をつかみ、内容を読み取る。</p> <p>3 「論理的」文章について学習する。(論理の力を鍛えよう)</p> <p>4 「論理的な文章」の構造を学ぶ重要性をつかみ、社会生活とつなげて考える。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる。芸術に対する見方を深めようとしている。 	○	○	○	13
定期考査						○	○	○	1
<p>働かないアリに意義がある</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 アリの生態を紹介しながら人間社会の問題点について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 	<p>1 本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p> <p>2 コロニーを構成する昆虫の実際の状況や、動物における筋肉と乳酸の関係などを理解し、動物の疲労は組織内の分業や労働システムに対してどのような影響を与えているのかという筆者の問題提起を捉える。</p> <p>3 働かないものを常に含む非効率的なシステムこそ、虫のコロニーを長期的に存続させる方法であるという実験結果を理解し、「働かないものにも存在意義がある」ということが証明されたことを確認する。</p> <p>4 ムシのコロニーにおける非効率な労働システムこそがムシたちの進化を支えていることを理解する。</p> <p>5 なんの役に立つかわからないものこそが、見通しのきかない今後のリスクヘッジとなり得るとする筆者の主張を把握する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用している。(2)イ 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。(B(1)ア) 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。(B(1)ウ) 「読むこと」において、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。(B(1)エ) 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 本文を粘り強く読み、テクノロジーの進化が経済活動にもたらす変化を説明しようとしている。 	○	○	○	13
<p>なぜ多様性が必要か</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 動的平衡という視点から生態系を捉える筆者の主張を把握し、生物多様性が重要な理由について考察する。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 	<p>1 本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p> <p>2 蝶の食性について整理し、なぜ彼らが「頑ななまでに自らの食べるものを限定している」のかを理解する。</p> <p>3 「動的平衡」の定義と、なぜ動的なものに恒常性が保たれるのかを理解する。</p> <p>3 なぜ、「生命は、絶えず壊されながらも、一定の平衡状態」を保ち得るのかを整理し、「相互依存的でありつつ、相互補完的である」とはどういうことか考える。</p> <p>4 なぜ生物多様性が必要なのか、本文の記述に沿って整理する。</p> <p>5 「ヒトだけが自らの分際(=ニッチ)を逸脱している」とはどういうことか理解し、「生命観と環境問題のパラダイム・シフト」とは具体的にどのようなことか考える。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用している。(2)イ) 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。(B(1)ア) 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。(B(1)ウ) 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。(B(1)エ) 【主体的に学習に取り組む態度】 生物多様性の必要性について述べた本文を粘り強く読み、学習課題に沿って内容の理解を深めようとしている。 	○	○	○	13
定期考査						○	○	○	1

紅葉川 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：大島 (1～6組：大島)

使用教科書：(高等学校 古典探究(数研出版) 711)

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている
- 【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めている
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>説話/大江山(十訓抄)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典作品を読み、内容の解釈を深めながら作品の価値について考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話の特徴について調べ、これまでの学習を生かして、登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 指名音読 修辞技法 発表態度 内容理解 ワークシート 教科書 ICTの活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 品詞分解の基本を知ると共に、古典の読み方や内容(有名な親を持つ子という構図)を現代に置き換えて、自分の考えを文章にまとめ、説明しようとしている。 	○	○	○	7
<p>伊勢物語「初冠」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 指名音読 修辞技法 発表態度 内容理解 ワークシート 教科書 ICTの活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 それぞれの歌について修辞法について理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代語訳する際の注意点を踏まえて、適切な現代語訳をしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> この時代における「歌」の意義や価値について理解すると共に、自分の考えを文章にまとめ、説明しようとしている。 	○	○	○	10
<p>助動詞 「む」「むず」「らむ」「けむ」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 助動詞の文法的意味を理解しようとしている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで助動詞の活用を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 修辞技法 発表態度 内容理解 ワークシート ICTの活用 			○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 助動詞の文法的意味を理解しようとしている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで助動詞の活用を考えようとしている。 	○	○	○	2
定期考査			○	○		○	○	○	1

1
学
期

<p>枕草子「御前にて人々とも」</p> <p>【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の文の成分の順番や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、作者の意図を読み取ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の文の成分の順番や照応、文章の構成や展開の仕方について理解し知識を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>13</p>
<p>徒然草「あだし野の露」</p> <p>【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の文の成分の順番や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで作品の表現や形式の特徴について理解し、作者の意図を読み取ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の文の成分の順番や照応、文章の構成や展開の仕方について理解し知識を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に筆者の言葉から心情や考えをとらえ、特に「ものあはれ(無常観)」というものに対する、自分の考えを説明しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>7</p>
<p>助動詞 「べし」「まし」「らし」「めり」「なり」</p> <p>【知識及び技能】 ・助動詞の文法的意味を理解しようとしている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで助動詞の活用を考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・修辭法 ・発表、報告 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・助動詞の文法的意味を理解しようとしている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで助動詞の活用を考えようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>定期考査</p>		<p>○ ○</p>		<p>○ ○ ○</p>	<p>1</p>
<p>方丈記「ゆく河の流れ」</p> <p>【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭技法などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し、『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭技法などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し、『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>13</p>
<p>東路日記「東路の道の果て」</p> <p>【知識及び技能】 ・古典読解を通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国や外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・本文中の助動詞や助詞の意味、用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・当時の女性の生活環境や立場、筆者が京に焦がれる気持ちを読み取りつつ、内容を理解することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・公任が他の船に乗った場合どうなったか考察し、話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>13</p>

2 学 期	<p>助動詞「じ」「まじ」「たし」「まほし」</p> <p>【知識及び技能】 ・助動詞の文法的意味を理解しようとしている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで助動詞の活用を考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・ICTの活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ・助動詞の文法的意味を理解しようとしている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・文法的意味を理解し、現代語訳に直すことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで助動詞の活用を考えようとしている。</p>	○	○	○	2	
	定期考査			○	○			○	○	○	1
	<p>源氏物語「光源氏の誕生」</p> <p>【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き言葉を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的、多角的な視点で読み解き、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。</p>	○	○	○	12	
	<p>大鏡「花山天皇の出家」</p> <p>【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで随筆を読み比べ、作者の考え方の違いについて考察しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・指名音読 ・修辭技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。</p> <p>・古典における「天皇」の扱われ方(敬語の使い方等)について理解を深めている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について考察し、文章にまとめたり、他社に伝えようとしている。</p>	○	○	○	13	
定期考査				○	○			○	○	○	1

3 学 期	<p>入試演習問題（説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章構成や展開の仕方について理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・指名音読 ・修辞技法 ・発表態度 ・内容理解 ・ワークシート ・教科書 ・ICTの活用 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章構成や展開の仕方について理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解を深めている。 				6
	合計									
105										

紅葉川 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 文学探究

教科：国語

科目：文学探究

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：大島、渡邊（月：大島，火：渡邊）

使用教科書：（大学入試共通テスト実践演習（数研出版） 大学入試演習スタディーク現代文 3 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている

【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で高め、自分の思いや考えを広げたり深めている

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている

科目 文学探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
入試に向けた学習を通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、語彙力の向上や我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	様々な文章を通して、深い共感や自身の考えを広げていけると共に、自らの考えを深め、言語化していく力を養うこと。それによって他者との関わりの中で活用し、進路実現に向けた、試験における実践的な力を養っていく。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させるとともに、学問や社会生活において必要とされる言葉の扱い方を身につけ、自ら言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
第1回 小説・論理・実用 大学入試試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情や筆者の主張、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章の展開、語句や内容理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入試試験国語文学領域について、 ・長さや頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ	○	○	○	【知識及び技能】 ・様々な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情や筆者の主張、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章の内容を粘り強く読み取り、自分の考えを言語化しようとしている。	○	○	○	7
第2回 小説・論理・実用 大学入試試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情や筆者の主張、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章の展開、語句や内容理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入試試験国語文学領域について、 ・長さや頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ	○	○	○	【知識及び技能】 ・様々な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情や筆者の主張、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章の内容を粘り強く読み取り、自分の考えを言語化しようとしている。	○	○	○	7
第3回 小説・論理・実用 大学入試試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情や筆者の主張、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章の展開、語句や内容理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入試試験国語文学領域について、 ・長さや頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ	○	○	○	【知識及び技能】 ・様々な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情や筆者の主張、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章の内容を粘り強く読み取り、自分の考えを言語化しようとしている。	○	○	○	7
第4回 小説・論理・実用 大学入試試験国語現代文領域について、 【知識及び技能】 入試に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情や筆者の主張、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、内容の理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章の展開、語句や内容理解などを粘り強く読み取ろうとしている。	大学入試試験国語文学領域について、 ・長さや頻出の題材に慣れる ・頻出と最新の出題形式に慣れる ・迅速な正答法を学ぶ	○	○	○	【知識及び技能】 ・様々な文章における文体的特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、登場人物の心情や筆者の主張、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章の内容を粘り強く読み取り、自分の考えを言語化しようとしている。	○	○	○	7
定期考査						○	○	○	1

年間授業計画

紅葉川 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

国語 科目 古典演習

教科：国語

科目：古典演習

単位数：

単位 2

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組～6組：川井）

使用教材：（ Logical Thinking 古文 ）

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。

科目 古典演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査		○	○	○		○	○		1
2 学 期	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査		○	○	○		○	○		1
3 学 期	説話、随筆、日記、評論、物語、紀行、歴史、小説 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	・古典を読むために必要な基礎知識の確認。 ・基本的な文法知識の確認 ・問題演習	○	○	○	【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典の文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の伝統や文化について書かれた古文を読み、内容を読み解くことで理解しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査		○	○	○		○	○		1
合計										70